

平成 23 年度のごみと資源の総量の状況について

3 R 夢プランでは、燃やすごみや埋立などのごみ量に、古紙や缶・びんなどの資源の量も加えた「ごみと資源の総量」の削減を目標としており、今年度は基準年度の 21 年度に比べ 1.5%以上削減を目標としています。

平成 23 年 4 月・5 月のごみと資源の総量は 213,290 トンで、平成 21 年度と比べ、704 トン（0.3%）減少しています。

内訳として、家庭系の総量は 160,580 トンで、同じく 467 トン（0.3%）増加し、事業系の総量は 52,710 トンで、同じく 1,170 トン（2.2%）減少しています。

平成 23 年度 4 月・5 月 ごみと資源の総量（速報） 【単位：トン】

		ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系			
			ごみ量	資源化量※ ¹		ごみ量	資源化量※ ²	
23 年度		213,290	160,580	107,870	52,710	52,710	48,910	3,790
21 年度 差		▲704 (▲0.3%)	467 (0.3%)	3,044 (2.9%)	▲2,577 (▲4.7%)	▲1,170 (▲2.2%)	▲2,057 (▲4.0%)	877 (30.1%)
21 年度 (基準年度)		213,994	160,113	104,826	55,287	53,880	50,967	2,913

- ・平成 23 年度速報値は、10 トン未満を四捨五入しています。
- ・（ ）中の数値は、21 年度との比を示しています。

【項目の説明】

- ※1 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と、資源集団回収の量の合計です。
- ※2 事業系の資源化量は、学校給食の残さの資源化、および許可を受けた事業者が生ごみや剪定枝を資源化した量です。